5 新た 一勤だ 月務し、 日で「 月 得 三特別の 日収欄 ま継ので続っ のの個 間場人 に合番 退一号 職のL し事は た項、 人を前に記動 未 載 務 徴し先 収 `で 税一は 額月記が一載 あ日せ る場合の新 に住勤 は、地への務先で 括課本 徴税人 収地から るの番こ市号 と町の が 村 提 義長供 務に提びたる け出け らし記 れて載 てくし いだて まさく すいだ 。。 。 。 い だ い い た い れ

意 3 2 1 ※ 「 無 の !	<b>糸</b> 牛	合 与 支 払 寺 別 徴 ◎異動があ	1 収				得者異動ださい。	届出 <sup>:</sup>	書					※ 年 度	1. 琤	見年度	2. 新年度	₹ 3. 両	—— i年度
、耳代は、記り支払者(おして、記事をおりません。これでは、記される。			A (					一 在 地							特別徵収義務者 指 定 番 号 宛 名 番 号				
・こより異動 特別徴収義 又はペンで	令和	年	月	日	徴 支収 義 氏 <sup>2</sup>	リ 名 又	ガナは名称								担連当絡	所 属			
後 ださい			序 町 長	€ 殿	払務 者 者 又	人は 法	番号人番号						←個人番号の記述 左端を空欄と	誠に当たっては、 し右詰めで記載	者先	電話		内線(	)
た <sup>°</sup> 欄 く で 中 だ 引 の さ	給	フリガナ       氏 名       生年月日	名				(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額		(ウ) 未徴収税額 (ア)ー(イ)	異 動年月日		異 動 の		事 由		異 動 後 の 未 徴 収 税 額 の 徴 収 方 法		
記載された宛	与所得	個 人 番 号 受 給 者 番 号 1 月 1 日 現 在 の 住 所	者 番 号				<u> </u>	$\blacksquare$	から			年月	右からを入	4. 死	職 ・ 長 で で で で で で で で で で が かん で が かん で かん		1. 特別徴収継続 右から 2. 一 括 徴 収 番号を 記 入 3. 普 通 徴 収		
	1. 4	異動後の 住 所	 景合				Ħ		円	Я		日		新山	油路牛/	〕 ヽは、月	(	(本人納付	付) <u></u> 円を
	新しい勤務生の特別徴収義務	特別徴収義務指 定 番	徴 収 義 務 者 定 番 号 〒				新規 法人番	T	所属						月分(翌月		10日納入期限分)から		
		フリガ氏名又は名	称					— 担連 — 当絡 者先	氏名 電話		<del>ار</del>	内線(	)	受給者: 納入書の (新規の場合の	)要否	科目	右から 1. 野号を記入	必要 2.	不要
新助务もこ	2. 一括徴収の場合  理 由 右から 2. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため 番号を記入										を記の一括徴収した税額は、 徴収予定月日 (数収予定額 (上記(ウ)と同額) 月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。							で	
送付願います。ださい。	<b>3</b> . <sup>-1</sup> 理由	月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日																	